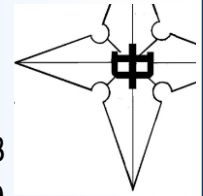


南浦和中だより



〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909

『瑠璃色の地球』

校長 おお ころ うち のり かず
大河内 範一



私にとってウルトラマンは永遠のヒーローである。自分が幼少の頃は、「戦いごっこ」をしてすくすくと成長した。月日が流れ息子にウルトラマンの座を譲らなければならなかった時には、怪獣役として復活を果たすことができた。この「戦いごっこ」のエンディングは、怪獣役が口で爆発音を発しながらスローモーションのようにゆっくりと倒れた後、ウルトラマン役が「シュワッチ！」と叫んで、その場で1回ピョンと飛び上がるのがお決まりの動きになっていた。とにかく、怪獣が痛い目に合ってストーリーが完結するというのが暗黙の了解だったのである。

ウルトラマンシリーズは現在もテレビ放送が続いており、これまでにかなりの数のウルトラマンが活躍しているのだが、その中でも2001年に登場した『コスモス』は異色の存在と言われ、「強さと優しさを兼ね備えた勇者」と呼ばれている。その理由はと言うと、例えば『初代ウルトラマン』は「八つ裂き光輪」という物騒な名称の技を使い、エネルギーを歯車状にして放り投げては怪獣を切断していた。よくよく考えるとかなり恐ろしい。しかしながら『コスモス』は、人間と怪獣の共存を願い、むやみに殺傷はしない。怪獣に対して積極的にコミュニケーションを図り、主体的・対話的に解決しようと試みる。そして、怪獣の心を静めたり、怪獣の悪意だけを消滅させたりする特殊光線を放って、穏やかな結末を目指すのである。全ての生命を慈しむ、実に素晴らしいウルトラマンなのである。

さて、6月は「いじめ撲滅強化月間」である。本校でも様々な取組を行っていくが、いじめほどの学校にも、どの子にも起こり得るものである。そして、「弱い者をいじめることは人間として絶対に許されない」という強い認識をもつことが重要である。

私たちの生活の中では、他者への心ない言動やSNSでの不用意な書き込みなど、「優しくない」感情から巻き起こるトラブルが数多く起こっている。これらのことは、自分たち一人ひとりが意識して行動していかないと決してなくなる。自分が発言する時、自分がつぶやく時、そして自分が書き込む時に、周りが嫌な思いをしないか、他者が傷ついたりしないか、もう少し慎重に考え、責任をもって発信してほしい。そして、優しい言葉掛け、朗らかな行動、素敵な笑顔を中心掛けていけば、周りの人々を幸せにすることができるのだということを、もう一度認識してほしい。

ウルトラマンたちだって、光の国から僕らのためにやって来て、この美しい地球を守ってくれている。我々も自分たちの力で、地球の平和、いや南浦和中学校の平和を守っていかねばならない。一人でも多くの人々が「強さと優しさを兼ね備えた人」になってくれることを強く願っている。